

科目名		経営戦略論(Strategic Management)								
学年	学科(コース)	単位数		必修/選択	授業形態	開講時期	総時間数			
第5学年	経営情報学科	学修	1単位	必修	講義	前期	45時間			
担当教員		【常勤】助教 根岸 可奈子								
学習到達目標										
科目の到達目標レベル		<ul style="list-style-type: none"> 経営戦略論における基本的な分析手法を理解することができる。 分析手法をもとに実際の企業を分析することができる。 競争優位について分析した結果について独自の見解を述べるすることができる。 								
到達目標(評価項目)		優れた到達レベルの目安	良好な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安	未到達レベルの目安					
到達目標①		講義中に出てきたすべての戦略についてそれぞれの特性を理解した上で分析手法を理解できる。	講義中に出てきた戦略(前半部ポーターのみ)についてそれぞれの特性を理解した上で分析手法を理解できる。	戦略の特性について何等か資料を見ながらであれば、分析することができる。	各戦略の特性を理解していないため分析手法も理解できない。					
到達目標②		講義中に出てきたすべての戦略についてそれぞれの特性を理解し、指示なしで適切な戦略を選択し適用することができる。	講義中に出てきたすべての戦略についてそれぞれの特性を理解し、適切な戦略を選択し適用することができる。	各戦略の特性は理解しているが、実際のケースに適用することができない。	戦略の特性を理解していないため、分析が全くできない。					
到達目標③		客観的な分析結果に基づき、過去に学んだ見解を基にしながら批判的側面を含む独自の見解を述べるることができる。	客観的な分析結果に基づき、過去に学んだ見解を基にしながら、類似の見解を示すと同時に独自の見解も加えられる(半分程度)	分析結果に対し、過去に学んだ類似ケースと見解とほぼ同様の見解を述べるることができる。	分析結果と見解が合致していない。あるいは大きく矛盾している。					
学習・教育到達目標		(C)②		JABEE基準1(2)		(d)-(1)				
達成度評価(%)										
評価方法		中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
指標と評価割合										
総合評価割合		45	45		10					100
知識の基本的な理解【知識・記憶、理解レベル】		◎	○		○					/
思考・推論・創造への適用力【適用、分析レベル】		○	◎		◎					
汎用的技能【論理的思考力】										
態度・志向性(人間力)【主体性】					○					
総合的な学習経験と創造的思考力【創成能力】		○	◎		◎					

関連科目，教科書および補助教材	
関連科目	経営管理論
教科書	レジュメを配布する。
補助教材等	適宜、雑誌や新聞等から資料を配布する。
学習上の留意点	
<p>本講義では、企業戦略を立てるうえでの基本的な分析ツールを身に付けます。その成果は試験における論述やレポートにおいて評価します。特にレポートに関しては、期日や記述量など規定条件を満たす必要があるので注意しましょう。再試も実施しません。</p>	
担当教員からのメッセージ	
<p>分かりやすくするため、現実の経済的動向をベースにしています。したがって、講義内で事例を見聞きするだけでなく、日々アンテナをはり情報を得ておくことより容易に理解することができます。やればできる科目です。</p>	

回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	講義紹介	講義の進め方や評価方法、意義について理解する。	講義の進め方、評価の仕方を理解する。
2	経営戦略の意義	企業経営においてなぜ戦略が必要なのかを理解する。	(予習) 初回講義の見直し (復習) どのような事例に適用できるのか考える。
3	Five-Force	競争環境を構成する5つの要素について理解し分析する。	(予習) 1・2回内容の見直し (復習) Five-Forceに基づいた事例を分析する
4	コストリーダーシップ、差別化、集中戦略	3つの戦略の特徴をとらえると同時に、それぞれがどのようなタイミングで適用されるのか理解する。	(予習) 3回内容の見直し (復習) 左記3戦略に基づいた事例を分析する
5	競争行動	競争環境における企業の競争行動について一定のパターンと特徴を理解する。	(予習) 4回内容の見直し (復習) 競争行動に基づいた事例を分析する
6	産業特性に応じた経営戦略	産業やライフサイクルごとの特徴を重視した競争戦略の立案に必要な要素を理解する。	(予習) 5回内容の見直し (復習) 産業特性戦略に基づいた事例を分析する
7	垂直統合戦略、キャパシティ拡大戦略、新事業への参入戦略	3つの基本戦略に続く垂直統合戦略、キャパシティ拡大戦略、新事業への参入戦略についてその特徴を理解する。	(予習) 6回内容の見直し (復習) 左記3戦略に基づいた事例を分析する
8	中間試験		
9	中間試験解説	試験問題の解説を通じ、ミスを修正する。論述に関する議論を通じ、理解を深める。	(予習) 自己採点 (復習) 間違えた所の書き直し
10	BPM、SWOT	BPMを用い経営環境を分析すると同時にSWOTを用いて企業経営を分析する方法を理解する。	(予習) 9回内容の見直し (復習) BPM、SWOTに基づいた事例を分析する
11	RBV	経営資源に着目した戦略策定方法を理解する。	(予習) 10回内容の見直し (復習) RBVに基づいた事例を分析する
12	フリーミアム、ロングテール、プラットフォーム戦略	近年現れたインターネットベースの戦略について理解する。	(予習) 11回内容の見直し (復習) 左記3戦略に基づいた事例を分析する
13	アーキテクチャ	サプライチェーンとアーキテクチャの関係について理解する。	(予習) 13回内容の見直し (復習) アーキテクチャに基づく産業分析
14	知識連鎖とクラスター	組織学習を目的とした知識連鎖とクラスターについて理解する。	(予習) 13回内容の見直し (復習) 2-13回に関するまとめのレポートを提出する
	期末試験		
15	試験解説	試験問題の解説を通じ、ミスを修正する。論述に関する議論を通じ、理解を深める。	(予習) 自己採点 (復習) 間違えた所の書き直し
総 学 習 時 間 数			45時間
講 義			30 時間
自学自習			15 時間